～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　難治性腹水に対する腹腔静脈シャント留置術の有用性の検討』
研究機関名　　東邦大学医療センター大森病院
研究責任者　　消化器センター内科　　職位・氏名　講師・松井哲平

【試料・情報の利用目的】
取得した試料・情報は難治性腹水に対する患者様に対して腹腔静脈シャント術の有用性を検討することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、腹腔静脈シャントの有用性を様々な面で確立することにつながります。
【他機関への提供】
他機関への提供は行いません。
【研究に用いられる試料・情報】
診療録から得た体重の推移、腹水の症状評価のアンケート結果、血液検査結果、心臓超音波検査結果、腹部超音波検査結果、腹部 CT 検査結果を用います。
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。
【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】
2025年3月より利用を開始します。
【試料・情報の管理について責任を有する者の名称及びその長の氏名】
東邦大学医療センター大森病院　病院長　酒井謙
【試料・情報の取得方法】
対象者：2010年1月～2025年1月までに東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科において、難治性腹水に対して腹腔静脈シャント留置術を受けた方、大量腹水穿刺排液の治療のみを受けた方の診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。
【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科
研究代表者：松井哲平　役職：講師

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年6月30日までに（過去に採取した既存試料を利用する場合）下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】　　東邦大学医療センター大森病院　消化器センター内科
職位・氏名　　講師・松井哲平
電話　03-3762-4151　内線　77205